

北海道商工業振興審議会 第 1 回 商業活性化部会における「主な意見」

令和 4 年(2022年)11月17日
経済部地域経済局中小企業課

【デジタル化関係】

番号	委員名	発言要旨	対応
1	江頭部会長	○ DXや、デジタル、ICTを使って、情報発信に対するニーズはあるが、高齢化が進んでいる商店街にあっては、対応ができない。そういったものへの支援も必要。	○商業活性化方策に次の文言を追記 目指す姿 「2 道民生活の安定」 具体的な展開方策 「デジタル化への対応」
2	武野委員	○ 携帯ショップが無い市町村が圧倒的に多い。DXについては、例えば消費者と交流する場として、スマホ講座の場を商店街が提供するとか、商店街の中でECの取組方法について教育・啓発することを盛り込むべき。	<u>(3) 携帯ショップの無い市町村の商店街が、スマホ講座を開催する場を提供し、デジタル化への対応を促進</u>
3	江頭部会長	○ DXに関しては、大型店を経営している会社のほうがノウハウを持っている。商店街のデジタル化に対して、積極的にアドバイスやシステムの支援をいただくことがあっても良いと思う。そういう貢献を盛り込んでいただければと思う。	○地域貢献活動指針（8ページ）に次の文言を追記 第4章 地域貢献活動の望ましい姿 1 地域との連携促進 (4) 消費生活の安定・経済活性化への協力 ② 道産品のPRや販売促進への協力 略
4	江頭部会長	○ ECに関しては、地元の商工業者が出店できるような道産品の販売サイトを作っていただくといった取組のように大きな企業と連携して地元の産品をECサイトで売っていく方策もある。	また、地元商店街が取り組むデジタル化へのアドバイスや、地域の事業者が出店できるようなECサイトとの連携協力を努めてください。
5	佐藤委員	○ デジタル化への対応が遅れているという認識は入れておくべき。消費者及び事業者に通ずる課題に対する解決策をこの方策の中で読み取れる形がよろしいかと思う。	○商業活性化方策に次の文言を追記 目指す姿 「1 地域商業、地域経済の活性化」 具体的な展開方策の「集客・売上の回復・確保」 <u>(2) 観光客などの来街者やECサイトを活用した域外需要の取り込み</u>
6	佐藤委員	○ 商圏人口が減少に対応し、域外需要を取り込んでいくため、デジタル化の中で、ECをどう活性化していくのか、域外需要を取り込んでいくということをもう少し強調する表現が良い。	
7	佐藤委員	○ 観光客を商店街にどう取り込めば良いかといった視点での方策も付け加える必要があるのではないか。	

【商店街組織への加入促進】

番号	委員名	発言要旨	対応
8	岸委員	○ 地域貢献活動指針には、「商店街への加入がマストでなければいけない」とか、「商店街への加入は努めてください」ではなくて、強い形の表現があれば良いと思う。	○地域貢献活動指針（7ページ）の文言を修正 第4章 地域貢献活動の望ましい姿 1 地域との連携促進 (1) 地域団体・組織への加入 事業者や商業施設の設置者の皆さんは、地域の商業活性化の基盤である地元商店街振興組織への積極的な加入に努めてください。 また、地域の商工業の総合的な改善発展を図ることを目的に設立されている商工会議所や商工会、さらには、住民活動の基盤である町内会など、地域の一員として求められる諸団体・組織への加入にも努めるとともに、地域団体・組織においても、事業者等に対して加入の働きかけに努めてください。 なお、大型店においては、商業施設の設置者から入居するテナント事業者に対しても、地域団体・組織への加入を積極的に働きかけるよう努めてください。
9	岸委員	○ 指針の1の「(1)地域団体、組織への加入」について、「商店街組織に積極的に加入し、また～」とするなど商店街組織への加入を強調した文言にしてほしい。	
10	江頭部会長	○ 地域貢献活動の実施状況について、商店街組織への加入のように、低いところをどう変えていくかも盛り込みたい。	
11	江頭部会長	○ 大型店は郊外が多いので商店街の中にいるとの認識が薄いかもしれない。組合側もコミュニケーションを取るため、個別の商店街のつながりを確保するような提案・提言をしたほうが良いのではないか。	
12	岸委員	○ 大型店には、地域貢献活動担当窓口の設置や担当者を置かなければならないとか、何か指針にあると商店街への加入促進がやりやすいと思う。	
13	岸委員	○ 商店街が大型店のどこに声をかけていいのかわからないため、声をかけていない。大型店の窓口が適時にわかるようなシステムがあると商店街は助かる。	○ <u>地域貢献活動指針（7ページ）</u> で対応済み 「第4章 地域貢献活動の望ましい姿」、「1 地域との連携促進」、「(2) 地域との意見交換の推進」において、地域貢献活動に係る 担当窓口を予め設定することとしているほか、大型店との接触に当たっては、商業活性化に関連のある地元商店街組織と日頃から交流する機会を設けることによって、地域のニーズを日常的に把握することとしています。
14	酒本委員	○ 商店街と大型店の直接のやりとりは最初は厳しいので、そこは道庁の役割かわからないが、そのきっかけを作る必要がある。	
15	江頭部会長	○ 市町村レベルの自治体で実際に顔を見せるお見合いパーティみたいなものができる本当は一番良いが厳しい。そのあたりの接続の部分をもう少し上手く表現できないか。	

【地域コミュニティ関係】

番号	委員名	発言要旨	対応
16	酒本委員	○ 商店街がコミュニティニーズに応えていく点は共感できる。コミュニティを必要としている世代は子育て世代が多いので、意識的に「子育て世代など」という記載を加えるのが良い。	○商業活性化方策の文言を次のとおり修正 目指す姿 「3 地域コミュニティの活性化」 具体的な展開方策の「暮らしを支えるまちづくり」 (3) <u>子どもの一時預かりや乳幼児向けのイベント実施等、子育て世代などのためのコミュニティスペースを設置</u>
17	江頭部会長	○ 子育て世代や若い世代がコミュニティを必要としているのはそのとおりだと思う。もう少しターゲットをはっきりさせて、「子育て世代」、「若い世代」など明示化するのが良い。	
18	酒本委員	○ 若い世代から近所にコミュニティスペースがほしいという声が出ているので、こうした受け皿としての商店街のあり方を加筆できないか。 また、若い世代はSNSで情報を得ているため、そこの記載も強調した方が良い。	○商業活性化方策の文言を次のとおり修正 目指す姿 「3 地域コミュニティの活性化」 具体的な展開方策の「暮らしを支えるまちづくり」 (2) <u>コロナ禍により外出の機会が減った若い世代の交流を促進するためのスペースを設置</u> 目指す姿 「2 道民生活の安定」 具体的な展開方策の「デジタル化への対応」 (2) インターネット・SNSによる情報発信・地元特産品などの販路開拓・人手不足に対応した働き方改革など
19	岸委員	○ 商店街は、非常に高齢化していて、後継者がいない方が多く、自分の代でやめるという方が多い。モノより人が欲しいので人材派遣のような制度を対応していただけるとありがたい。	○商業活性化方策で対応済み 目指す姿 「3 地域コミュニティの活性化」 具体的な展開方策の「地域づくりを担う人材の育成」 (3) 地元商工団体等との連携による後継者不在事業者の早期把握と事業承継者の確保及び、起業希望者とのマッチング
20	酒本委員	○ 人材が不足している商店街への伴走型支援の仕組みを検討いただけないか。	○商業活性化方策に次の文言を追記 目指す姿 「3 地域コミュニティの活性化」 具体的な展開方策の「地域づくりを担う人材の育成」 (2) 中心市街地の空き店舗を地元の商工団体が借用し、新規創業者を「研修生」として受け入れ、 <u>経営ノウハウ習得などの伴走型の支援を実施</u>
21	江頭部会長	○ 伴走型は大切なポイント。商店街の人たちが大切にしたいと思っている部分や地域に内在する本質的な問題把握のため、時間は必要だが伴走型支援は、ぜひ強調していただきたい。	

【空き店舗対策】

番号	委員名	発言要旨	対応
22	武野委員	<p>○ 商店街にからんでいただき、空き店舗を活用して、地球温暖化対策、新設された施設・敷地内でのアイドリングストップの啓発活動など、事業者側と消費者側が連携する視点があってもいいのではないかと。</p>	<p>○地域貢献活動指針（14ページ）の文言を修正 第4章 地域貢献活動の望ましい姿 4 環境・エネルギー対策 (4) 地球温暖化対策の実施 来店者に対する敷地内におけるアイドリングストップの呼びかけや、公共交通機関の利用促進、また、植樹など緑化推進や地域の温暖化防止活動への積極的な参加・協力などにより地球温暖化の防止に努めてください。</p>
23	江頭部会長	<p>○ 千歳市の商店街では、地元の不動産業者が店子との交渉や店舗の改修、借り手探しなどを仕切って、14あった空き店舗が4になった事例がある。地元の不動産業者や信金などが管理する仕組みも事例として載せる必要があると思う。</p>	<p>○商業活性化方策の次の文言を全文修正 目指す姿 「1 地域商業、地域経済の活性化」 具体的な展開方策の「空き店舗の活用」 (1) <u>地域の空き店舗を一括して地元の不動産業者や金融機関が店子との交渉や店舗の改修、借り手探しなどを仕切って活用を促進</u></p>
24	江頭部会長	<p>○ 取組事例は道内限定だが、例えば関西の滋賀や和歌山の事例で商店街の空き店舗を使って全体をホテルと見做して観光客に泊まってもらう「商店街ホテル」の取組があるので、道外事例もうまく使って紹介できればと思う。</p>	<p>○今後検討 他県の取組例については、道内での展開の可能性なども勘案し、今後の点検・見直しを検討する上での参考とさせていただきます。</p>

【環境・エネルギー関係】

番号	委員名	発言要旨	対応
25	酒本委員	<p>○ 環境のところで、地球温暖化対策を含めですが、新エネルギーとかいう言葉が出てきている、どちらかという、再生可能エネルギーという表現に変えた方がもう少し幅広くなる。</p>	<p>○地域貢献活動指針（14ページ）の文言を修正 第4章 地域貢献活動の望ましい姿 4 環境・エネルギー対策 (3) エネルギー対策の実施 <u>営業時間短縮や過剰な照明の削減、空調温度の適切な設定による節電対策の徹底のほか、また、太陽光発電などの再生可能エネルギー設備や、省エネルギーに対応したエアコン、LED照明等の省エネルギー対応機器の導入など、エネルギー対策の実施に努めてください。</u></p>
26	武野委員	<p>○ SDGsについては、資料の欄外に小さく書いてあるが、わかりやすく明確に見える形で示した方が良い。また、食品ロスの削減についてどこかに入れるべき。</p>	<p>○商業活性化方策の文字ポイントを修正（SDGs）</p> <p>○地域貢献活動指針（14ページ）の文言を修正（食品ロス） 第4章 地域貢献活動の望ましい姿 4 環境・エネルギー対策 (2) 3R（リデュース、リユース、リサイクル）等の推進 <u>資源ごみの回収ボックスの設置や、店舗から排出されるごみの分別の徹底などのリサイクル対策をはじめ、エコバッグや簡易包装、ごみ減量化などリデュースの推進や、グリーン購入の推進などリユースの推進に努めていただくとともに、<u>フードバンクなどと連携した食品ロス削減の推進にも努めてください。</u></u></p>

【その他】

番号	委員名	発言要旨	対応
27	佐藤委員	○ ふるさと納税は、地域の商業者が担い手となって道外に出していくようなしくみを作っているが、地域の小売事業者が、生産者が直接本州に売っているのではなく、道外にものを売っていく仕組みを構築していくのかというのを一工夫必要なのかと思う。	○今後検討 今後の点検・見直しを検討する上での参考とさせていただきます。
28	佐藤委員	○ 「共通する主な課題」で、「物価高騰」とあるが、物価が上がるのが悪だと言うことにつながるとデフレから脱却できないことを意味することになるため表現を検討いただきたい。	○商業活性化方策の次の文言を一部削除 主な課題 共通する課題「/ ⊖原油価格・物価高騰 /」
29	玉生委員	○ 中核都市でも商店街が疲弊している。地域商業の活性化を議論する材料として、各地域の問題が何なのかをブラッシュアップするため、地域毎に比較するデータが必要。	○今後検討 地域毎に比較するデータについては、現在使用しているデータからは算出できないことから、今後、使用する統計を含め、今後の点検・見直しを検討する上での参考とさせていただきます。
30	佐藤委員	○ 道の責務について、条例第17条の財政上の措置があるので、道として財政的な部分も含めた応援体制、メッセージを出していただければ、受け取った商店街の方々に大きな後押しとなる。	○今後検討 道の事業予算については、毎年の予算検討により確定させていくものであることから、今後の点検・見直しを検討する上での参考とさせていただきます。